

# 平成29年度大学院地球社会統合科学府

## 修士課程（冬季）入学試験

### 入学試験問題

#### ⑩ 言語コミュニケーション・言語教育

##### 注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

**【共通問題】**

問1. 次の1～18から6つ選び、それぞれ具体例を挙げて説明しなさい。

(20点×6=120点)

1. 話法
2. 媒介語
3. メトニミー (metonymy)
4. 同定と類別
5. 指示詞の現場指示と文脈指示
6. 対格言語と能格言語
7. signifié と signifiant
8. 隣接ペア (adjacency pair)
9. 相補分布 (complementary distribution)
10. 適性テスト (aptitude test)
11. 過剰般化 (overgeneralization)
12. 内容中心アプローチ (Content-based approach)
13. ジョハリの窓 (Johari Window)
14. 組織コミュニケーション (Organizational Communication)
15. コミュニケーションの民族誌 (Ethnography of Communication)
16. ルーブリック (Rubric)
17. 反転授業 (Flipped classroom)
18. JSL 対話型アセスメント (Dialogic Language Assessment for Japanese as a Second Language)

**【選択問題】**

問2. 次のⅠ～Ⅷから2つ選び、それぞれについて解答しなさい。選んだ問題の番号を解答用紙に書きなさい。(40点×2=80点)

Ⅰ ある日本語学習者が「大きい的車」という発話をしました。これは標準的な日本語としては誤用ですが、この誤用が生じた理由として考えられるものをいくつか、具体的に詳しく述べなさい。(40点)

Ⅱ 日本語のセンテンス「私は王曉明です」と、「私が王曉明です」について、その用法上の相違点を中国語などの他の言語と対照して述べなさい。(40点)

Ⅲ 日本語の文法化について具体的な例をあげて説明しなさい。(40点)

Ⅳ 形態論に関する以下の1~3の問いに答えなさい。(40点)

1. 自由形態素と拘束形態素の違いについて具体例を挙げて説明しなさい。(10点)
2. 造語法 (word coinage) に関する以下の用語について具体例を挙げて説明しなさい。  
(各5点×4=20点)

①複合語、合成語 (compounds)

② 混成語 (blends)

③逆成 (back formations)

④頭字語 (acronyms)

3. 派生形態素と屈折形態素の違いについて具体例を挙げて説明しなさい。(10点)

Ⅴ 以下の1~3の問いに答えなさい。(40点)

1. 次の1)~5)の文章の中の①~⑩の( )内にそれぞれ適切な単語を入れ、文を完成させなさい。ただし、(②)には同じ単語が入ります。(各1点×10=10点)

1) ( ① )とは意味の違いを区別する音の最小の単位のことである。

2) ( ② )とは意味を持つ最小の単位のことを言い、そのうち単独の語として現れることのできるものは( ③ )、単独では現れることができず、必ず他の ( ② )と共に現れるものを( ④ )と言う。

3) ( ⑤ )とはある時間軸上に当該事態の位置づけを表す文法カテゴリーを言い、当該事態と発話時に対する時間関係を表すものを( ⑥ )、当該事態と発話時以外の時点に対する時間関係を表すものを( ⑦ )と言う。

4) ( ⑧ )とは事態がどのような局面にあるのかを表す文法カテゴリーを指す。

5) 文の意味内容は「叙述の素材」としての客観的意味内容と「文の述べ方」に関わる主観的内容に分けられ、前者は( ⑨ )内容、後者は( ⑩ )と呼ばれる。

2. stage-level predicates と individual-level predicates について説明しなさい。  
(15点)

3. 日本語の「あっ、バスが来た」と「あっ、バスが来る」の違いについて説明しなさい。  
(15点)

Ⅵ 内的動機づけと外的動機づけとは何か、どちらのほう言語学習により強く働くのか、例をあげながら、あなたの考えを述べなさい。(40点)

**Ⅶ** 以下のレトリカル・イベント (Rhetorical Event) についての文を読み、1、2 の問いに答えなさい。(40 点)

1. 下記の説明を参考に、自分がよく知っている出来事を 1 つとりあげ、そのイベントを詳細に記述しなさい。(10 点)
2. そのイベントが、誰によってどのような意味を付与されたのかを記述し、考察を加えなさい。(30 点)

ウェブ公開版では著作権法上の問題により、問題文原文を削除した。問題文はレトリカル・イベントに関する英文 13 行

**Ⅷ** 以下のアクティブ・ラーニング (Active Learning) に関する 1～3 の問いに答えなさい。(40 点)

1. アクティブ・ラーニングとは何か、具体的に説明しなさい。(10 点)
2. 学校教育や大学教育等において、アクティブ・ラーニングによる授業が重視されるようになった背景にはどのような事情やニーズがあるのか、説明しなさい。(10 点)
3. 言語教育において、アクティブ・ラーニングの主旨にそった授業を展開していこうとする場合、どのような点に留意する必要があるのか、具体的事例を示しつつ、説明しなさい。(20 点)